

全線開通90周年記念

「高山本線フォトキャンペーン」開催中!!

抽選でQ U Oカードペイ千円分プレゼント

一面に募集広告なぜ? JR西日本様から協賛金を得るわけではありません。中山間地域対策課OB、現在「広域交通・新幹線政策課」職員としての要望、「高山本線」を盛り上げたい一途な想いからです。

前号でお知らせしたとおり、今年の十月二十五日に高山本線が全線開通九十周年を迎えました。それを記念してJR高山本線の沿線自治体や商工会等の関係団体で構成する「高山本線強化促進同盟会」が、高山本線の魅力発信や利用促進を目的にこのキャンペーンを実施しています。

募集テーマは七つ
「懐かしの高山本線」「自然」「旧型車両」
「地域」「新型車両HC85」「車窓」「人」

応募は「インスタグラム」で公式アカウント (@takayamahonsen_domeikai) をフォローし、イチ推しの写真にハッシュタグ「#高山本線フォトキャンペーン」、"#全線開通九十周年記念"をつけて投稿。写真の撮影時期は問いません。応募者の中から抽選で五十名に電子ギフトカード、Q U Oカードペイ千円分をプレゼントします。
応募期間は十二月二十四日(火)までです。

(<https://takayamahonsen90th-domeikai.jp>) や「インスタグラム」の公式アカウントでご確認ください。(下の二次元コードから確認できます)



中山間タイムズ

10年住み続ける、わがまち(むら)づくりのお手伝い

第9号
(11月30日) 発行
富山県
中山間地域対策課
お問合せ
076-444-4578



錦秋の愛本

Instagram 応募方法

STEP 1

高山本線強化促進同盟会公式アカウントをフォロー

@takayamahonsen_domeikai



STEP 2

テーマに沿った写真を撮影してください



募集・懐かしの高山本線・自然・人・地域
テーマ・新型車両 HC85・旧型車両・車窓

STEP 3

- ① 作品のタイトル
- ② 選んだテーマ
- ③ 撮影場所
- ④ 撮影した日時
- ⑤ 写真についてひとこと

(おすすめポイント、思いなど)を記載して、

#高山本線フォトキャンペーン、
#全線開通90周年記念とアカウントID
@takayamahonsen_domeikaiの
3つをタグ付けして投稿してください。

撮影した写真



@takayamahonsen_domeikai タグ付け

- ① ~⑤を記載、
- #高山本線
- フォトキャンペーン
- #全線開通90周年記念
- タグ付け

- ① 作品のタイトル
- ② 選んだテーマ
- ③ 撮影場所
- ④ 撮影した日時
- ⑤ 写真についてひとこと
- #高山本線フォトキャンペーン、
- #全線開通90周年記念

全線開通90周年記念

高山本線

フォトキャンペーン

#高山本線フォトキャンペーン
#全線開通90周年記念

令和6年10/25(金) - 12/24(火)

募集テーマ・懐かしの高山本線・自然・人・地域・新型車両 HC85・旧型車両・車窓

#高山本線フォトキャンペーン #全線開通90周年記念
を付けてテーマに沿った写真をInstagramに投稿!

JR高山本線は1934年に全線開通し、本年10月25日に90周年を迎えます。沿線自治体や関係団体で構成する「高山本線強化促進同盟会」では、これを記念して高山本線の魅力を伝える写真を募集します! あなたのイチ推しの「高山本線」をみんなに紹介しませんか?

詳しくは
特設サイトを
チェック!

10th Anniversary 立山Craft

立山Craft 10周年

10月26日、27日に立山町総合公園で、「10周年アニバーサリー立山Craft」が開催されました。「立山Craft」は、手作り作品の作家が集まって各々の作品を展示販売する年一回のイベントです。



出店のテント群



フードコーナー

もともと、立山町上段地域、東谷地域では、手作り作品の作家が多く、新瀬戸地区では約430年の歴史ある「越中瀬戸焼」。近年は和紙も盛ん。立山Craft以降、漆工芸、金工などの作品を創る作家が活躍している地域。「Craft」は「Craft」の「手」の作品をテーマとして多くの人が集まり、各々の「作品」を発信することで地域の活性化を創出し、活性化を目指して「立山Craft」は10年目を迎えました。

今年、作品関連の出店が101組、フード関連の出店が24組、立山町の地域を紹介する出店が8組の計133組の出店がありました。



陶器作品の店



純等手工芸の店



佐藤みどりさん



ガラス作品の店



地域を紹介する店

主催のNPO法人立山Craft代表理事の佐藤みどりさんは、「手作り作品の発信地として多くの方が訪れ、立山町のこの地域の良さを感じて、移住したいと考える人が増えるとうれしい。」と話しておられました。



十月二十日(日) 晴れ・黒部市農村伝承館「山本家」

愛本アクティブプランナーズ(AAP)主催(黒部市愛本)

「山本家トライアルカフェ」に行ってきた

開店(十時)頃に入るが既に一八名ほどのお客様。元豪農の館だけあって部屋はたくさんあり、貴賓室風、カジユアルな昭和風アウトドア風、和室、旅館の縁側風といろいろ。自分の好み、気分に合わせて選べる。家具はカフェのためにセカンドショップを巡り調達したとのこと。私は玄関横の火の入った囲炉裏の間で、いただくことに。早速、コーヒーとスイートポテトのセット(五百円)を注文した。コーヒー豆は「水の時計(黒部市荻生)」から仕入れたニカラグア。バリスタはタマキさん、ミルで豆を挽きハンドドリッパーで淹れる、これは本当に旨かった。お代わりしたくなるプロフェッショナルな技術。スイートポテトは愛本産の紅はるかを使用したホームメイド。個人的には芋々感が少し強く、ホイップクリームが添えてあってもいいのかなど。添えるか否かは試作段階でスタッフの間で話も出たが、素材の味をより活かす「愛本産」推しで添えないことになったぞ。



AAPマンマと推しの子

コーヒーと
(本日限定 ニカラグア)
スイートポテト
(愛本産 紅はるか)
セット
500円



カフェ内では、愛本出身の放送作家、中野俊成さんのウルトラマンやゴジラより大きい「巨大仏 写真展」が同時開催。牛久大仏とゴジラの比較なんて超おもしろかった。

この取組は、令和四年に愛本地域で実施した「未来会議・愛本の将来を考える会」で作成したアクションプランのひとつを練り上げて「愛もつとプロジェクト③もつと集う! 農村文化伝承館「山本家」をコミュニティカフェとし、内外を問わず、多世代多様な人々が居場所機能を持つ拠点をつくる」とし、中山間地域チャレンジ支援事業を活用したものの。十月一三日、二十日、二七日の三日間限定営業。今回、三日間の総来店数は一八〇名で収支はプラマイゼロだったとのこと。スタッフは、ヨシミさん、カノコさん、カズミさん、タマキさん、メグミさん、アキコさん、サエさんの女性七人(AAPマンマと呼ぶ)と愛本推しの子(セガさん、地域おこし協力隊員白岩マーティンさん)の計九名。今後、定期的な開催、継続に向けて、価格設定や要員(人件費)などを検証・改善し如何に利益を上げるかや、芋がない時期、春以降の愛本にこだわったスイーツを何にするか、巨大仏に代わる企画を何にするか?など 課題はたくさんだが、AAPマンマ達には既に思惑があるみたいです。(しかし、一回目にしてこのクオリティの高さはビックリ)



10月13,20,27日(日)開催
巨大仏 写真展
中野 俊成
10月13日-20日(日)まで
10:00-18:00